

# 食の機能を活用した健康づくり産業 ～新しい地域振興～

【第4回】いわて農林水産物機能性活用研究会シンポジウム ◎日時:令和2年 8/28[金] 12:30受付開始/13:00開会

「いわて農林水産物機能性活用研究会」は、地場の農林水産物活用による健康づくりと地域振興を目指しています。

新型コロナウイルス感染症は、人々の健康や経済に大きな影響を与えています。こうした状況の中で、重症化リスクを防ぐためには、**各地域における普段からの疾病予防 = 健康維持・増進**が、今まで以上に強く求められています。一方で、農林水産物の持つ機能性は、こうした健康維持の増進に役立つとともに、そうした食品の生産が、地域振興につながる可能性も秘めております。

全国で活性化する農林水産物の健康機能の活用による産業振興の取組の推進を目指し、シンポジウムを開催します。

## 講演1 北の大地の機能性食品

～ヘルシーDo～



一般社団法人北海道バイオ工業会 事務局長

### 三浦 健人氏

帯広畜産大学、北海道大学大学院を経て1998年岩手大学大学院連合農学研究科修了(博士[農学])。同年、株式会社アミノアップ化学入社。生物化学研究室、製造室、品質保証室、学術部を経て2015年より産学官連携・知財担当部長。2008年より北海道バイオ工業会で事業企画・運営委員主幹事を務め、2018年より事務局長。ヘルシーDoには制度構築から携わる。

## 講演2 九州各地の健康づくり企業支援



九州地域バイオクラスター推進協議会 プロジェクトマネージャー

### 森下 惟一氏

リモートで開催

北海道大学大学院水産学研究科修了。農林水産省畜産試験場研究員を経て帰郷し、1997年から地元水俣の産学連携のための第三セクター設立や、文部科学省等の公的事業の導入に携わる。2006年より熊本県の産学官連携事業のバイオテクノロジー系のコーディネータとして活動。2013年より現職。専門分野:微生物工学

## 講演3 産学官連携によるフーズ・ヘルスケア オープンイノベーションプロジェクトの取組



公益財団法人静岡県産業振興財団

フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションセンター センター長

### 望月 誠氏

東北大学法学部卒。1980年静岡県入庁。2014年静岡県理事(産業成長戦略担当)、2016年企業局長。2017年公益財団法人静岡県産業振興財団副理事長兼専務理事等を経て2020年7月より現職。

## 講演4 健康ビッグデータで【寿命革命】



弘前大学COI研究推進機構(健康未来イノベーションセンター)/COI副拠点長・教授  
京都府立医科大学・客員教授/東京医科歯科大学・非常勤講師

### 村下 公一氏

青森県庁、ソニー、東大フェロー等を経て2014年より現職。弘前大学COI拠点では副拠点長(戦略統括)として産学連携マネジメントを総括。文科省他政府系委員等多数。2019年内閣府「第1回日本オープンイノベーション大賞」内閣総理大臣賞受賞。2019年第7回プラチナ大賞 総務大臣賞受賞。専門:地域産業(イノベーション)政策、社会医学

## 講演5 コロナ禍と成長戦略 地方創生の可能性

前内閣官房内閣審議官 間宮 淑夫氏

1987年経済産業省入省。地域活性化、エネルギー、中小企業、クールジャパン、マクロ経済政策、IT、大蔵省主計局、大臣秘書官等幅広い政策分野を歴任。まちひとしごと創生本部次長、特許庁総務部長等を経て、最近まで内閣官房内閣審議官。



- 参加申込書には、緊急時連絡用に連絡先(電話番号)のご記入が必須となります。
- ご来場時には、会場建物内は飛沫防止のためマスクの着用をお願いいたします。

## 参加申込書 (申込締切/8月20日(木)まで)

お名前			男・女
ご住所	〒		
電話番号	メール アドレス		
所属団体			

いわて農林水産物機能性活用研究会、公益財団法人岩手生物工学研究センターは、個人情報(個人を識別できる情報)の重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律及び関連法規を遵守し、個人情報の適正な収集、利用及び安全管理を行うため、その実現に努めます。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に当たり、国の機関等からの情報提供の要請があった場合、情報提供を行いますのでご了承ください。

お問い合わせ

公益財団法人岩手生物工学研究センター/生物資源活用推進センター[いわて農林水産物機能性活用研究会 事務局]  
TEL.0197-68-2911 FAX.0197-68-3881 E-mail : k-shinohe@ibrc.or.jp